

# (仮称)さいたまトリエンナーレ基本構想 骨子(案)【概要】

## 1 基本的な考え方

### 1 開催目的

文化芸術都市創造に向けた象徴的な事業として開催

#### ① 「さいたま文化」の創造・発信

新旧文化が触発しあい、市民の創造性を喚起することで、さいたま発の先進的な都市文化を創造・発信する。

#### ② さいたまの文化芸術を支える「人材」の育成

本市の次代を担う層の豊かな感性や創造性と、文化芸術都市創造の中核となる人材を育成する。

#### ③ 文化芸術を生かした「地域」の活性化

国内外の交流機会を創出し、さいたまの魅力を広く発信。地域の創造的活動を誘発し、地域の活性化を図る。

### 2 開催方針

#### 基本方針

毎回、さいたま市の地域資源や都市の過去・現在・未来などに着目したメインテーマを設定し、それに基づき多様な文化芸術の創造・発信を行う。

#### 展開方針

①国内外の一流アーティストや新進アーティストによる、**美術を中心とする多様な現代芸術に関する最先端の作品展示や公演**を実施

②**市民による、多様な分野の作品展示や公演**を支援

③国内外の**アーティストと地域や来訪者の交流**を促進し、楽しさや賑わいを創出する各種イベントを実施

### 3 期待される効果

先進的で、多面的・総合的な文化芸術を体験できる国際芸術祭の開催により、以下の効果を目指す。

①「文化芸術都市」としての**イメージの確立**

②**市民の誇りと郷土への愛着の醸成**

③**経済波及効果による地域経済の活性化**

## 2 開催構想

### 1 名称

- ・(仮称)さいたまトリエンナーレ
- ・正式名称は、実施主体設置後に決定

### 2 開催年

- ・初 回：平成 28 年度  
(さいたま市誕生 15 周年)
- ※以降、3 年おきに開催

### 3 開催時期・会期

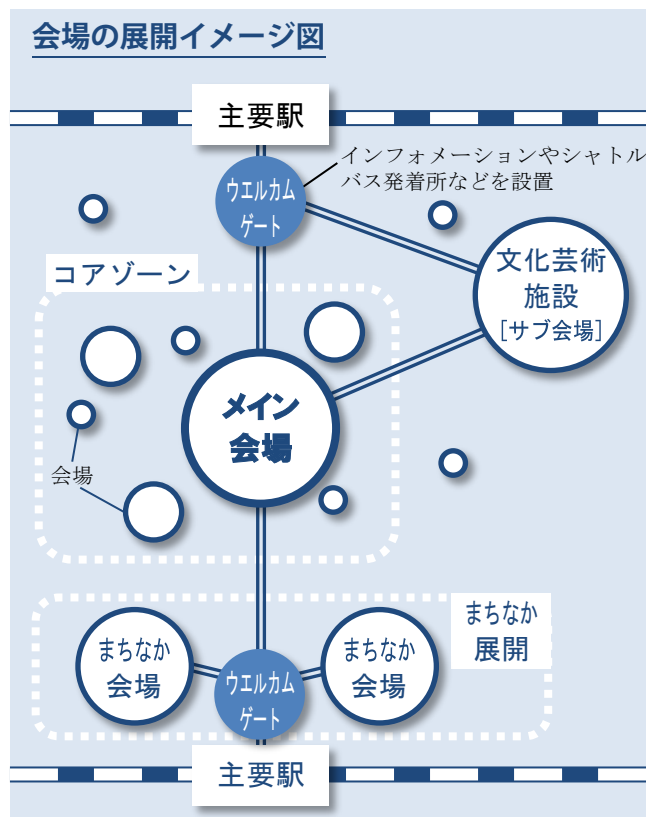
- ・会期は 100 日程度を想定
- ・開催時期と併せて、今後、検討を深め、実施主体設置後に決定

### 4 会場

- ・メイン会場を中心に、徒歩又は自転車で回れる範囲の「コアゾーン」を設定
- ・その上で、「文化芸術施設」や「まちなか」など、さまざまな会場を活用
- ・主要駅周辺に「ウェルカムゲート」設定
- ・メイン会場等は実施主体設置後に決定

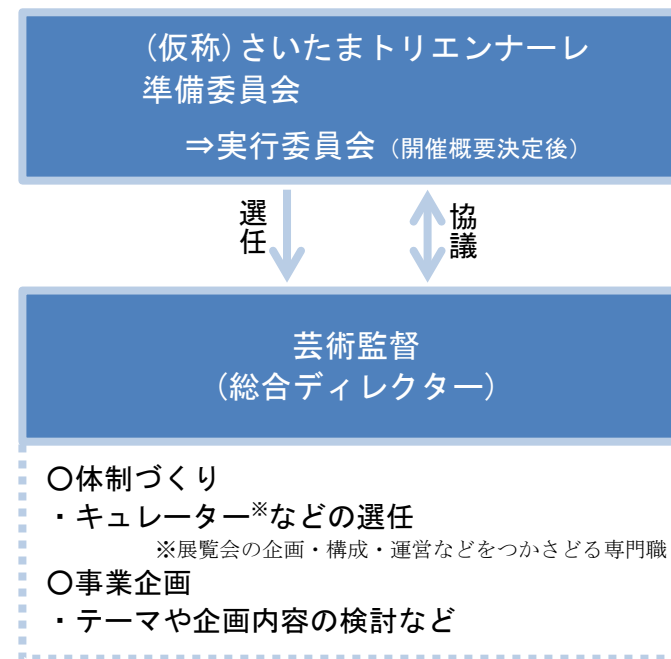
### 5 事業規模

さまざまな資金調達の方法を検討し、「他に類を見ない」国際芸術祭にふさわしい事業規模を確保する。



## 3 開催体制

- ・平成 26 年度の早い時期に、市を中心に産学官で「準備委員会」を設置
- ・準備委員会は、芸術監督などを選任  
→芸術監督を中心に、具体的な企画内容を検討
- ・開催概要を決定後、実行委員会に改組し、運営主体とする。



## 4 スケジュール

